

## JICA(インド国別研修)の現場見学会

平成26年11月17日

関東支社 さいたま工事事務所

- ◎実施日時 :平成26年11月12日(水) 14:00 ~ 16:30
- ◎実施場所 :東京外環自動車道 新葛飾橋(鋼上部工)工事 現場内
- ◎実施者 :さいたま工事事務所 葛飾工事区・高州工事区
- ◎参加者 :インド共和国(道路交通省、国道庁、州政府関係者)計 10 名

さいたま工事事務所では、東京外環自動車道の開通に向けて、埼玉県～東京都～千葉県の新設工事を進めています。今回、JICA(国際協力機構)・本社海外事業部を通じて、インドの高速道路関係者 10 名が技術研修の一環として現場の視察に訪れました。

まず、高速道路のネットワーク整備の重要性や、橋梁の架設工法、隣接する国道を規制しながら夜間作業を進めるための工夫などについてパワーポイントで説明を行いました。インドと日本では、施工時の安全対策の考え方などに大きな相違があり、工事区で行っている取り組みに興味を示していました。また、送出し架設(葛飾工事区)やクレーンでの相吊り架設(高州工事区)といった珍しい工法にも関心があつたようで、日本では当たり前の工法でも、インドの方にとってはとても珍しかったようです。

その後実際の現場を視察し、架設されたばかりの床版の上で、それぞれの部材の用途や周囲の環境について説明を行いました。その中で、「この部材はどんな素材でできているのですか?」「床版に開いているこの穴は何のためにあるのか?」などといった質問を受けたり、「クレーンでの吊り方が工夫されていて驚いた」「工事現場が整備されていて綺麗だ」といった感想を頂きました。

安全・安心・快適・便利な高速道路を 1 日も早く提供できるよう工事を進めています、その中で生まれた知恵や工夫が海外に発信できるよう、今後も務めていきたいと思ひます。



写真-1. 各種取り組みについて概要説明。  
質疑応答も白熱しました。



写真-2. 合成床版の上で。  
現場にも風景にも興味津々。